



# 議会だより つるい

幌呂小学校の体験授業でワイン用ブドウの収穫



## TOPICS

- 令和2年度の決算は? . . . . . P2
- 9月定例会の中身は? . . . . . P8
- 5議員が村政を問う! 一般質問 . . . . . P11
- 臨時会 . . . . . P17



鶴居村マスコットキャラクター  
「つるぼー」

# 令和2年度決算はコロナの影響を大きく受ける 国からのコロナ対策費が増収要因！



令和2年度の決算はどうなった？

## 一般会計のあらまし

- ①歳入決算額は54億5857万円となり、前年度比8億886万円減の大幅な減収となった。減収の要因は、前年度の畜産クラスター事業14億9351万円の影響によるもの。
- ②新型コロナウイルス感染症対策の臨時交付金1億7000万円と、事業経費が約2億2000万円、特別定額給付事業約2億5000万円が増収となっている。
- ③ふるさと納税は2390万円の増収。

令和2年度鶴居村一般会計、特別会計歳入歳出決算、財産の状況、基金運用状況について延べ13日間にわたり審査を実施した。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなり、緊急経済対策や感染予防対策を講じながらも、事務・事業は効果的に執行され、健全財政を基本に産業の振興・福祉の向上、生活環境の整備、教育の充実、定住促進など、行政効果を確保し重点事業を推進したことは高く評価される。

歳入については、使用料が保育料無償化による保育所使用料の皆減や、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少し、ふるさと納税は2390万円の増



代表監査委員  
灰塚 玲子 氏

## 監査意見

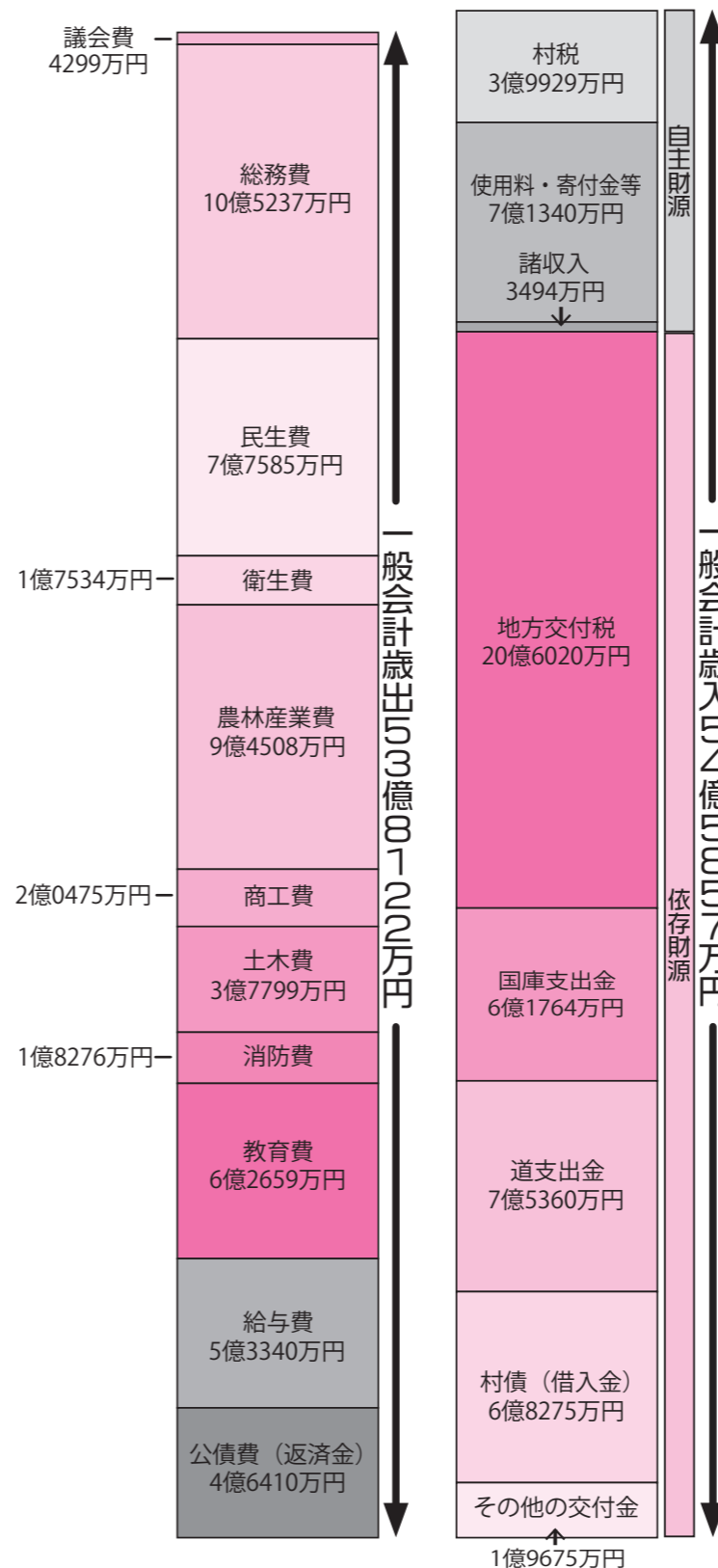
となった。ふるさと納税事業については、今後期待するところである。

また、地方交付税は基準財政需要額（地域社会再生事業費）の増などにより前年度比4874万円の増加、国庫支出金は新型コロナウイルス感染症関係国庫補助の4億6930万円の増加となっている。

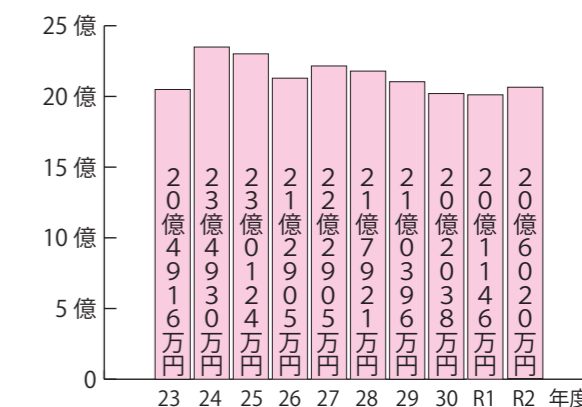
今後も引き続き村税・国民健康保険税や税外収入の庁内一体となった徴収体制を強化し、積極的な滞納整理に取り組み、納税意識のより一層の啓蒙と有益で安全を重視した基金運用に努め、貴重な自主財源の確保に努めていただきたい。

歳出については、将来を見据えて引き続き諸経費の節減や事務事業の効果検証に努め、現行に即した効率的・効果的な事業を執行していただき、今後も長期計画に基づいた行財政運営によって、健全財政を保持し、活力があり、村民一人ひとりが安心して暮らせる村づくりに取り組みられることを望むものである。

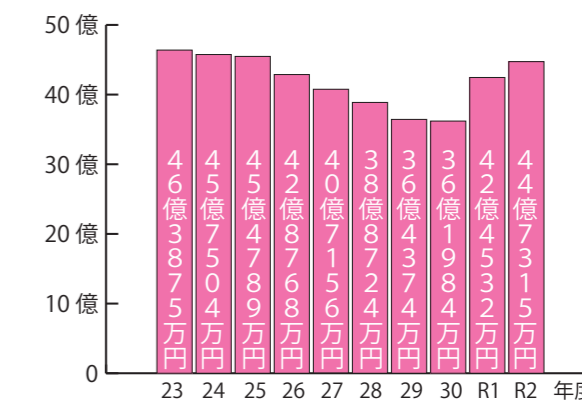
## 歳出 歳入



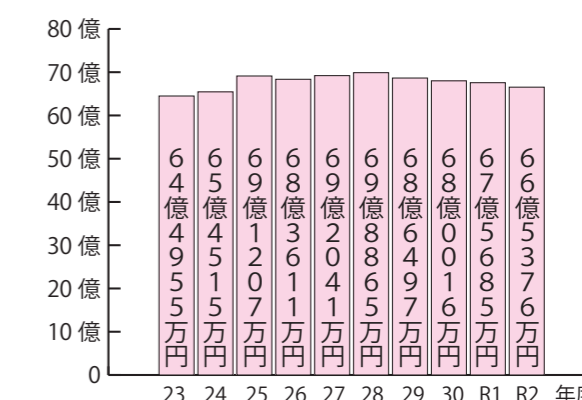
## ▶ 地方交付税の推移



## ▶ 借入金の推移(一般会計)



## ▶ 基金残高(貯金)の推移(特別会計含む)



## 令和2年度各会計決算

会計別	歳入	前年度比	歳出	前年度比	差引余剰額	議決の内容
一般会計	54億5857万円	▲12.9%	53億8122万円	▲13.3%	7735万円	全員賛成
水道特別会計	6815万円	17.7%	6596万円	18.8%	219万円	全員賛成
農業集落排水特別会計	5913万円	4.1%	5584万円	0.3%	329万円	全員賛成
国民健康保険特別会計	3億6525万円	2.2%	3億3096万円	2.5%	3429万円	全員賛成
診療所特別会計	7653万円	1.2%	7653万円	1.2%	0	全員賛成
介護保険特別会計	2億8293万円	5.1%	2億6842万円	8.3%	1451万円	全員賛成
後期高齢者医療特別会計	4434万円	5.8%	4371万円	6.2%	63万円	全員賛成
合計	63億5490万円	▲10.8%	62億2264万円	▲11.1%	1億3226万円	

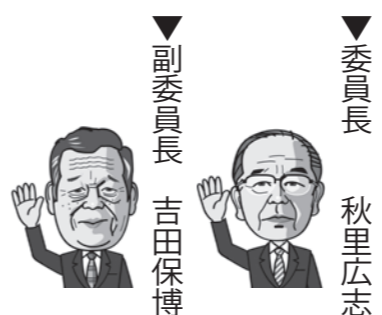


住民の声をどう活かしたか

# 令和2年度決算で議員が注目した事業は？ 決算委員会では6委員が72の質問をしました！

決算委員会 9月8・9日

令和2年度一般会計および特別会計の各会計決算案は、松井広道議長と大津監査委員を除く7議員で構成される決算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行いました。  
事業内容や事業効率、効果などについて活発な質疑を行い、議案ごとに討論、採決を行った結果、全ての議案を「可決すべきもの」と決定しました。



▽役場にエレベーター構想 346万円  
松井洋和委員  
役場庁舎機能改善構想策定委託でエレベーター設置を検討しているが、現時点での状況は。

総務課長  
現在、実施設計を進めており、エレベーター設置に向けて議論している。出納室の横に設置する予定。  
松井洋和委員  
エアコンの設置についての協議は。

総務課長  
まずは、住民が使用する総合センターに設置できないかを検討している。

▽ふるさと納税事業 2193万円  
松井洋和委員  
ふるさと納税礼状兼観光パンフレットと、礼状兼寒中見舞いポストカードの内容は。

企画財政課長補佐  
礼状兼観光パンフレットは、返礼品に同梱し、ふるさと納税のお礼と村のPRを行う。  
松井洋和委員  
礼状兼寒中見舞いポストカードは、納税者とのつながりを大切にするために全員に郵送している。

企画財政課長補佐  
より宣伝効果を高めるために、ふるさと納税サイトに載せる返礼品の写真をプロが撮影したものに変更する事業。

▽酪農ヘルパーの地域おこし協力隊員を募集しては

松井俊治委員  
酪農ヘルパーのなり手がいなく大変な状況にある。新規就農にもつながる、酪農ヘルパー業務を行う地域おこし協力隊員を募集できないか。  
企画財政課長  
村の地域産業がいかに持続可能なものになっていくかを十分に考え検討したい。

▽老人を高齢者に統一しては

及川満浩委員  
事業名や科目に老人と高齢者が混在しているが、高齢者に統一するべきでは。  
保健福祉課長  
この件は、今年度の予算策定時にも議論していたが間に合わなかった。今後、変更可能なものは全て見直したい。

▽カラス箱罠と鹿の困い罠

東 隆行委員  
カラス箱罠とエゾシカ困い罠の数と各捕獲数は。  
産業振興課長  
カラス箱罠は10か所、捕獲数は2294羽。エゾシカの箱罠は3か所、捕獲数は59頭。

▽サクラ事業

東 隆行委員  
エゾヤマザクラだけではなく、リングゴと千両ナシを植樹しているのは。  
産業振興課長  
子どもセンターの環境整備としてエゾヤマザクラ10本、リングゴ10本、千両ナシ10本を植樹している。

▽ワイナリー構想 513万円

松井洋和委員  
醸造用ぶどう特産品開発事業業務委託の内容は。  
産業振興課長補佐  
ワイナリーの事業計画を作成した。ワイナリー設置には酒税免許が必要で、6000ℓ(約9000本)のワインを造らないといけない。特区を取得すると2000ℓ(約3000本)で設置できる。規模や販路など課題も多く慎重に検討する。  
松井洋和委員  
特区は行政がワイナリーを立ち上げる場合には認められないのでは。  
産業振興課長補佐  
特区は民間がワイナリーを設置する場合に認められる。

▽歯科診療所の機器更新状況は

及川満浩委員  
最新の診療機器、最新の技術がないと歯科経営が厳しいと言われている。機器の更新状況は。  
保健福祉課長  
診療機器の更新については、歯科医師と協議する予定。必要なものはきちんと整備する。

▽牧草のエゾシカ被害対応

松井俊治委員  
草地更新した所がよリエゾシカの被害を受けている。夜間駆除も含めて広域的にさらに強い駆除対応を。  
産業振興課長  
新規ハンターが5人増えている。  
エゾシカの夜間駆除など、北海道の動きを注視しながら対応したい。



子どもセンターにサクラやリングゴ、ナシの木を植樹。

決算委員会 9月8・9日



住民の声をどう活かしたか

# 令和2年度決算で議員が注目した事業は？ 決算委員会では6委員が72の質問をしました！

決算委員会 9月8・9日

## ▽公住退去時のエアコンの穴

**佐藤吉人議員**  
公住にエアコンを設置した場合、退去時に壁の穴をふさぐことになるが、どの程度ふさげば良いか。

**建設課長**  
基本的に原状回復してもらうことになるが、エアコンの穴であれば壁をふさぐカバーの使用も可能。

## ▽鶴小スケートリンク柵設置 190万円

**吉田保博委員**  
鶴居小学校だけのスケートリンク柵の設置工事を行うのは。

**管理課長**  
総合体育センターの建設により、スケートリンクを移設するための設置工事。今年度からは他校と同様にPTAの協力により設置を行う。

## ▽鶴小体育館上部の時計

**佐藤吉人議員**  
鶴小の体育館上部の時計が止まったままである。修理するのか、撤去するのかの検討が必要では。

**管理課長**  
現在修理している最中。今後故障した場合には、学校の時計塔の必要性なども含めて検討したい。

## ▽簡易軌道の案内看板

**佐藤吉人議員**  
簡易軌道の案内看板を設置したが、除雪時に破損する恐れがあるのでは。

**社会教育課長**  
簡易軌道活用構想を策定している最中であり、最低限の案内看板の作成となった。構想の確定時に再度看板の検討を行う。

## ▽タンチョウの給餌量

**東 隆行委員**  
タンチョウの給餌量を年々減らしているが、現在の状況は。

**社会教育課長**  
平成26年には約14トン給餌していたが、昨年は約7トンまで半減している。今後は10%づつ削減していく。

## ▽鶴小にエアコンが必要では

**松井洋和委員**  
気候変動の影響で夏場がとて暑い。本村でも新設された公共施設にはエアコンが整備されており、既存施設へのエアコン設置を考える時期にきている。天窓がある鶴小は特に暑く、授業に集中できる環境を整えるためにエアコン設置が必要ではないか。

**教育長**  
鶴小にはトップライトが採用されており、明るい反面、夏場には気温が上昇する。まだ北海道でエアコンを設置している学校は少なく、釧路管内には昨年時点では設置している学校はない。検討すべき課題とは認識しており、他の学校も含めて協議が必要だと思っている。

## ▽バス demand

**松井俊治委員**  
いよいよ10月から幌呂線でデマンドバスがスタートする。今後、利用率を上げるために高齢者宅の玄関先まで迎えに行くことが必要ではないか。

**村長**  
まずは既存の路線を運行し、その結果、色々と課題が出てきたときに改めて地域の住民と検討したい。

## ▽村財政の今後

**吉田保博委員**  
コロナにより先の見通せない状況が続いているが、村の財政の今後については。

**村長**  
令和2年度はコロナの影響でソフト事業が執行できない状況になった。国もコロナ対策を優先しているが、今後コロナが終息した段階で財政の健全化に取り組むと思われる。そうすると、施策の見直しや今よりも地方交付税が減額されることも予想される。国や道が用意する財政支援メニューに注視し、大きな課題には広域的な取り組みを進め、情報収集に努めたい。

## ▽プールは

**吉田保博委員**  
今後プールを新築する計画は。

**教育長**  
現時点では計画していない。10億円規模の建設費がかかり、その後のランニングコストも相当見込まれるため、慎重な検討が必要。



高いところにあるため修理が大変な鶴小体育館の時計。

決算委員会 9月8・9日

9月議会  
でどんな  
ことを？

# クラフトビールのブルワリーなど 議員が注目した事業は？

## 令和3年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計	1億5941万6千円	55億1423万5千円	全員賛成により可決
水道特別会計	609万5千円	1億0029万5千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	189万8千円	3億6229万8千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	1284万7千円	2億9384万7千円	全員賛成により可決
後期高齢者特別会計	68万6千円	4478万6千円	全員賛成により可決

### 定例会のあらまし

第3回定例会は9月7日に開会し、10日に閉会しました。村長からの提出議案は19件で、内訳は報告1件、認定7件、条例案件4件、計画案件1件、補正予算5件、その他1件です。議員発議案は5件で、すべての議案が原案通り可決されました。一般質問では、5議員が6項目の質問で村政を問いました。



松井広道議長

### ▽道の駅

**大津泰則議員**  
令和3年から7年までの5年間の過疎計画の中に「道の駅」の構想が計画されているのは、  
**村長** まずは「道の駅」の可能性を調査したいと考えている。

### ▽中幌呂分譲地が完売

**吉田保博議員**  
中幌呂分譲地が2区画販売され完売となった。販売価格を下げてすぐに売れているが状況は。  
**企画財政課長** 平成13年から14年にかけて造成した中幌呂分譲地は長年完売できずにいたが、当時と比べて地下が25%ほど下落しているので価格を引き下げた結果、完売することができた。

### ▽コロナワクチンの集団接種

**及川満浩議員**  
コロナウイルスワクチンの集団接種は、どの自治体も役場全体で取り組んでいる。大変苦労している自治体もあったようだが本村の状況は。  
**保健福祉課長** 5月連休明けから高齢者向け集団接種を開始した。当初は鶴居と幌呂の2会場で送迎もしていたため役場全体で対応したが、その後は鶴居1か所になったので、保健福祉課を中心に各課からの応援で対応できた。

### ▽茂雪裡小学校のクラフトビール誘致事業

**秋里広志議員**  
クラフトビール誘致により、旧茂雪裡小学校を地域の複合的な活動が可能となるように改修するが、その内容は。  
**副村長** 現状、建物がかかり老朽化しており、玄関やトイレなどを改修し、今後、複合的な活動に使用できるようにする。

### ▽喫煙ブースの設置

50万円

**松井俊治議員**  
役場に喫煙ブースを設置するのは。  
**総務課長補佐** 役場は敷地内禁煙となっているが、屋外に受動喫煙を防止する施設を設置することができる。今回は簡易な喫煙ブースを設置し、喫煙者に対応する。

**佐藤吉人議員**  
喫煙ブースを設置するいきさつは。  
**副村長** 現状、役場敷地内には喫煙ブースがない。その結果、会議などで役場を訪れる人が敷地外の道路や駐車場などで喫煙している状況となっており、喫煙ブースの設置に至った。職員は休憩時間以外の勤務時間内はこの喫煙ブースを使用しない。

### ▽ふるさと納税広告宣伝費

200万円

**松井洋和議員**  
ふるさと納税広告宣伝費の前身は。  
**企画財政課長** インスタにふるさと納税特設サイトを制作する他、パナー製作費、SNS発信企画などを行う。

### ▽温水除草機の購入

217万円

**松井俊治議員**  
どのような建物になるのか。  
**総務課長補佐** スチール製で高さ2、2m、横幅2、4m、奥行き1、8m。駐輪場から10mほど離れた芝生の上に設置する予定。

**吉田保博議員**  
温水除草機を購入するのは。  
**建設課長** 美しい村として環境整備に力を入れており、村道の雑草対策として100度の温水で根まで枯らす、環境にも優しい温水除草機を購入する。

9月議会  
でどんな  
ことを？

# 9月定例会 審議した議案と結果



上程議案	賛成：○ 反対：×	結果	松井俊治	東隆行	松井洋和	佐藤吉人	及川満浩	吉田保博	大津泰則	秋里広志	松井広道
<b>令和2年度決算の認定</b>											
一般会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道特別会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療所特別会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>計画の策定</b>											
過疎地域持続的発展市町村計画の策定 今後5年間の過疎債（有利な借入）の計画	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>条例の制定・一部改正</b>											
地域持続的発展促進条例の制定 過疎地域支援として旅館業や情報サービス業などの固定資産税免除を行う条例	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
デマンドバス条例の制定 10月1日から運行するデマンドバスの条例	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上下水道事業審議会条例の制定 上下水道の料金や経営などを審議する審議会を設置する条例	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地域体育センター設置条例の一部改正 茂雪裡地域体育センターを削除する改正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>令和3年度補正予算</b>											
一般会計（第4号） 主に旧茂雪裡小学校プールのルーフリー事業などの増額計上	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道事業会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計（第1号） 主に前年度繰越金の確定	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>報告</b>											
令和2年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>その他</b>											
財産の無償貸付につき議決を求めること 法改正による改正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>議員発議</b>											
議会会議規則の一部改正 標準町村議会会議規則改正による改正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 標準町村議会会議規則改正による改正	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>意見書（国に提出）</b>											
林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

（注）議長は賛否を表明しません。賛否同数の場合のみ議長採決として表明します。

## 村長・教育長へ聞きたいこと 5人の議員が6項目の質問

秋里 広志 議員 P12

①新型コロナウイルスワクチンの接種状況

佐藤 吉人 議員 P13

①北海道遺産第65号簡易軌道の今後  
②村民福祉センター「あすぽっと」の玄関

吉田 保博 議員 P14

①ふるさと納税

松井 洋和 議員 P15

①介護給付額の減少率が全国2位の鶴居村

及川 満浩 議員 P16

①バイオマス活用推進計画の中間評価と今後

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。  
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

# 北海道遺産簡易軌道の今後は

教育長 提案書をもとに慎重に検討を進める



さとうよしひと 佐藤吉人 議員

**教育長** 旧村営軌道の今後については、令和2年度に、その保存・

**佐藤** 第3次北海道遺産に登録された鶴居軌道は「仮称鶴居村営軌道パーク」の設置に向けて検討が進んでいます。今年度はハード事業よりソフト事業がメインだと思いますが、現況と次年度に向けた行動計画などを伺います。また、この簡易軌道の在り方と同時にふるさと情報館の展示の在り方についても検討することでしたが、その検討内容についても伺います。

・新聞広告などを活用した簡易軌道に関する資料収集。  
・当時の簡易軌道関係者による座談会形式での証言の記録化。  
・収集した資料をもとにしたわかりやすい映像資料制作。  
など、普及啓発のための「簡易軌道デジタルアーカイブ制作」に取り組んでいるところです。

今後この提案書をもとに、総合計画のローリングなどを行い、財源の確保や施設の規模・設置時期、保存・展示などについて慎重に検討を進める考えです。なお今年度は、業務委託により

展示などを行う施設の設置を前提とした調査や基本構想の作成について業務委託し、3月に、施設のコンセプトやゾーニングプラン、保存・普及について、複数のプランが示された提案書を受理しました。

## 村長

施設入口の玄関スロープやポーチの

また、ふるさと情報館の展示については、旧村営軌道の保存・展示施設の在り方と関連付けて検討すべきものと考えており、それまでの間は、パネルの解説内容の更新など必要な改善にとどめたいと考えています。

## あすぽっとの玄関

施設入口が南向きになっており、冬季に北風が雪を運び玄関が

なるのは状態になります。雪の巻き込みを防ぐためには全面を風除室にすべく考えています。

また、道々側の階段に手すりが必要ではないかと考えますが伺います。



福祉の拠点「あすぽっと」が完成

# ワクチン接種状況は

村長 段階的に対象者を広げ集団接種を



あきさとひろし 秋里広志 議員

## 秋里

村の新型コロナウイルスの接種対応は5月から始まり、

①現在までの村民のワクチン接種状況と年代別の接種割合について。  
②現在ワクチン接種ができない12才以下の児童や保育園児などに対しての感染予防対策について。  
③村内の妊婦へのワクチン接種の状況と保健的指導について。

## 村長

現在までのワクチン接種状況は、5

月の連休明けから75歳以上を対象にした集団接種を開始し、その後、65歳以上や基礎疾患のある人、さらに40歳以上、12歳以上と段階的に対象者を広げ、集団接種を実施してきました。

また、7月から、つるい養生邑病院の協力支援をいただき、病院内での個別接種も実施してきました。

図1、8月末現在の2回目の接種率

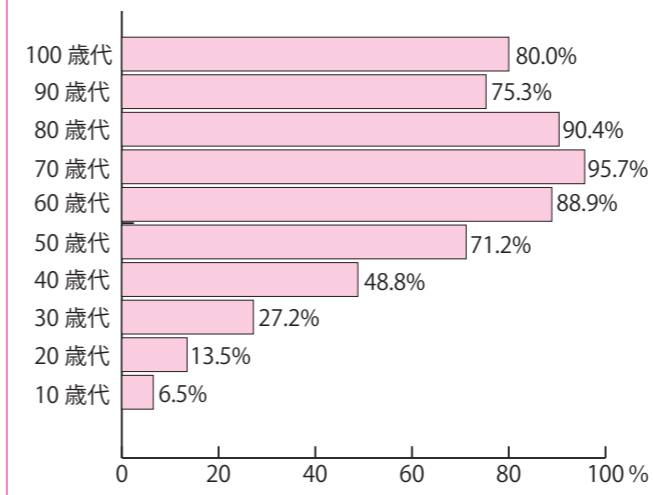
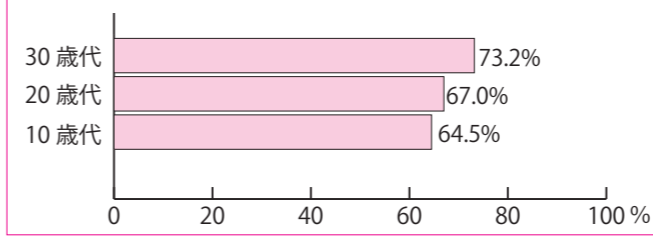


図2、8月末現在の1回目の接種率



村が実施する接種は、9月18日、19日の12歳以上の集団接種で終了となります。次に、8月末時点の2回目接種を終えた年代別の接種率は図1のようになっています。なお、40歳未満での1回目の接種率は図2となっており、1回目を終了した村全体の接種率は83.5%となり、9月の集団接種完了後も同様の接種率になると考えています。

2点目の現段階でワクチン接種の対象となっていない12歳未満の児童や保育園児などの予防対策については、保育園や小学校に対し、マスク着用や手洗いの励行などの徹底を図っており、各家庭にも発熱などの風邪症状がある場合には登園・登校させないよう協力を要請しています。3点目の妊婦へのワクチン接種状況と保健的指導については、現在、村内で対象となる妊娠中の人は10名おり、うち2名が接種しています。

厚生労働省や日本産婦人科学会などから、妊娠中にコロナに感染すると妊娠後期に重症化しやすいことや、感染した妊婦から胎児への感染はまれであること、さらに日本で承認されているワクチンが妊娠、胎児などに悪影響を及ぼすという報告事例がないことから、妊娠中の人へもワクチン接種が推奨されています。

# 介護給付額の減少率全国2位



まついひろかず  
松井洋和 議員

## 村長 介護予防事業を充実

**松井** 介護保険制度が導入された2000年以降、高齢者一人当たりの給付額を減少させた自治体はとも少なく、その中でも鶴居村は介護保険給付額の減少率は37%となり、北海道で最大、さらに全国でも2位という結果が出ました。

過去に全国一高い介護保険料となっていた鶴居村ですが、行政と住民が一体となって介護事業に取り組んだ努力が、このような素晴らしい成果となって現れたものだと思います。

そこで、ここまで介護給付額を減少することができた要因や今後の展望などを伺います。



介護予防に効果的な「ふまねつと運動」

## 村長

2019年度の全国の介護給付費は10兆円にも達し、介護保険制度の発足当初からおよそ3倍を超える状況にあります。

本村では、制度発足当初から施設入所者の増加が続き、平成15年度から平成17年度までの第2期計画期間の基準となる介護保険料は年額で7万1300円となり、全国で最も高い介護保険料を示していました。

その後は、制度の改正など

に対応しながら、在宅サービスの充実を図り、デイサービスやホームヘルプサービスの利用に対する助成や福祉住宅の整備、介護用品の購入助成などを実施するなどにより、保険料引き下げが可能になりました。

さらに、介護予防の取り組みを強化し、運動機能向上を目的とした「ふまねつと運動」の展開や介護サービスだけでは補えない生活支援サービス事業の充実を社会福祉協議会

と連携するとともに、地域包括支援センターの機能強化や認知症ケア体制の充実などにも取り組んできました。

質問にあるとおり、一部報道により平成13年度から平成30年度比で介護給付費の減少率が36.7%となり、道内で1位、全国でも2位となる内容が掲載されましたが、このことは、村民の健康に対する高い意識のもとで、地域が一体となってお互いを助け合ってきた成果でもあり、高齢者などの健康状態が良好とも感じとれる内容と受け止めており、喜ばしく思っています。

しかし、近年減少に向かっていた施設入所者数が再び増加しており、高齢者をはじめとする村民の健康状態などを注視しながら、介護予防事業の充実や必要な介護支援提供体制の整備に取り組み、引き続き健やかに安心して生活できるむらづくりを推進したいと考えています。

# ふるさと納税は



よしだやすひろ  
吉田保博 議員

## 村長 ふるさと納税制度をより一層推進

**吉田** 村は、今年度寄附金予算を8050万円とし、6000万円増額の予算額としています。

ふるさと納税の受入増額を見込んでいるところですが、現状と見込みについて伺います。

また、新たな返礼品の発掘状況についてどのように行っているのか、自主財源が少ない村の改善策のひとつとして取り組むべき課題とありますが、見解を伺います。



ふるさと納税が好調な「鶴居チーズ」。

## 村長

ふるさと納税の返礼品には、制度開始後から取り組んできました。平成30年から民間の専用サイトを活用した本格的な取り組みにより、令和元年度で2110万円、昨年度は4324万円ほどの寄附額となり、今年度は歳入予算に8000万円の寄附額を予算計上しています。

返礼品の品目数は年度当初で28品目でしたが、村内事業者との連携に努め、むらづくりに業務を委託する道外事業者に返礼品の開発支援業務を加えるなど、返礼品の充実確保に努めています。

具体的には、村内宿泊施設の宿泊券やプロカメラマンによる写真、ガイドによるツアーや地元製造の木炭などを返礼品に加えたほか、これまでの返礼品を組み合わせ、商品のバリエーションを増加させるなどして、本年8月末時点で51品目の返礼品を確保しています。

また、返礼品の管理サイトも、年度当初は「さとふる」1社で運用していましたが、現在までに楽天、ふるさとチョイス、ふるなび、JAL日本航空を加え、5社に管理サイトを拡大しています。今後、ANA全日空を新たに追加する予定であり、広く全国に鶴居村のふるさと納税を発信していく考えています。

これらの取り組みにより、今年度7月末時点では、昨年同時期と比較して24.6%増の1515万円ほどの寄付額となり、順調な伸びを示しています。

ふるさと納税制度は貴重な財源が得られる仕組みであると同時に、鶴居ファンを獲得し関係人口の確保にもつながり、村内商工経済の振興や特産品の充実、新たな経営意欲を引き出す極めて有効な地域活性化策です。

また、納められた寄附金については、今後の活性化を図る重要な財源であり、寄附者の想いに寄り添いながら地域の活性化のために活用すべき浄財として、他の基金とは異なる管理運用が求められると考えています。

今後、さらに村内事業者などとの連携を強め、新規特産品の発掘やふるさと納税の市場環境の把握に努めながら、ふるさと納税制度をより推進していく考えています。



# 小中学校の校務用パソコン とスクールバス購入

## 第3回臨時会

9月28日に臨時会を開会しました。  
契約案件2件の議案審議を行い、すべての議案が原案通り可決されました。

### ▽財産の取得

下久著呂線を運行するスクールバス1台を購入します。

取得する財産：スクールバス車両1台  
契約の方法：指名競争入札  
契約の金額：6,449,943円  
契約の相手：釧路トヨペット株式会社

取得する財産：各小中学校校務用  
情報通信機器一式  
契約の方法：指名競争入札  
契約の金額：15,796,000円  
契約の相手：株式会社ポータス

村内の小中学校5校で使用する校務用のパソコンやソフトなどを購入します。

### 表紙の写真



10月14日(木)に鶴居村の特産品であるワイン用ブドウの収穫が行なわれました。その時に幌呂小学校の子どもたちが、授業でブドウ収穫体験をしていた時の「コマ」です。

議会だよりは要約されています。  
臨場感ある本会議場へお越しください。

議会の傍聴お待ちしております。  
次回定例会は12月14日(火)10時～役場2階(予定)



# バイオマス活用推進計画の中間評価と今後

村長 中間評価を行う状況にない



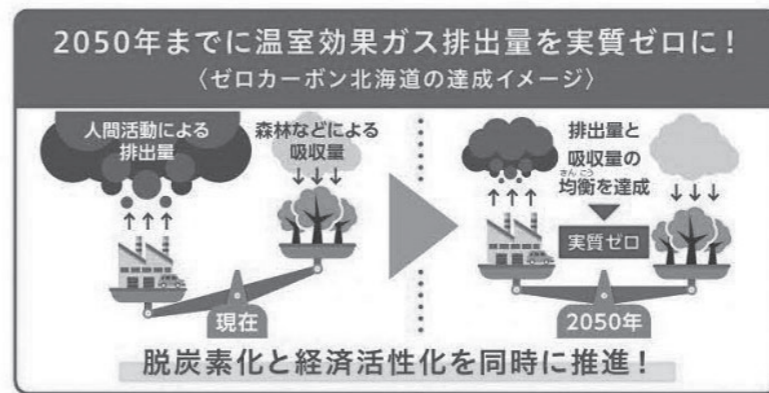
おいかわみちひろ  
及川満浩 議員

## 及川

2017年12月に、村は「地域の未利用資源であるバイオマスを利  
用した自立・分散型エネルギー供給体制の強化を図る」とともに、「地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を促すこと」を目的に「鶴居村バイオマス活用推進計画」を策定しました。2026年度までの10年間の計画です。  
そして、この計画の中では、中間評価を計画期間の中間年となる2021年度に実施するとあります。  
当時とは、取り巻く状況が大きく変化の中で、計画の中間評価と進捗状況、今後の方向性について伺います。

## 村長

本村のバイオマス活用推進計画は、国の「バイオマス産業都市構想」に基づき、家畜ふん尿の適切な処理による環境負荷の軽減や林地残材の活用による山づくり、新たな起業による環境の保全や再生可能エネルギーの推進などを図ることを目的に、平成29年度に策定しています。  
本計画では、計画の策定から5年を経過した時点で、バイオマスの利用率や利用内容、具体的取り組み内容の経年的把握し、必要に応じて目標や取り組み内容を見直す「中間評価」を行うことにしています。  
しかし、これまでも数度にわたり経過を説明していますが、畜産バイオマスを活用したバイオガ



本格化するゼロカーボン北海道

スプラントは、施設は予定どおり建設されましたが北海道電力への系統接続に空き容量が確保されないことなどの事情から、発電事業は未だ実施されていません。「中間評価」については、評価を行える状況にはないと考えています。

昨年10月、国は「2050年カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現を目指す」とを宣言し、カーボンニュートラルに向けた取り組みを強力に推進しています。  
本村も、豊かな自然環境を未来に継承するため、森林資源の有効活用や再生可能エネルギーの導入・拡大による「ゼロカーボンシティ」の取り組みを進めることを検討しているところだ。  
「ゼロカーボン」の取り組みや達成のためには、バイオマス資源を含む再生可能エネルギーの果たす役割なども必要なことから、これら民間事業者の動向や事業の推移を注視しながら、関係団体などと連携して「バイオマス活用推進計画」に定める目標の達成に努めたいと考えています。

# 子供のことから憧れていた北海道・鶴居村に

## いよいよやって来ました!

むらづくり推進係つるい魅力発信推進員

かたぎり おさむ  
片桐 修 さん



鶴居村の皆さん、はじめまして!

9月より鶴居村の住民になりました、片桐修(かたぎりおさむ)と申します。まず、私の生い立ちと北海道・鶴居村とのつながりを書かせていただきます。生まれは愛知県一宮市という名古屋のちよつと北にある街で、子供の頃は柔道に明け暮れていました。中学生のときに「キタキツネ物語」という映画を見て北海道の大自然を知り、高校生ときにTVDドラマ「池中玄太80キロ」を見て、タンチョウのことを知り、いつかは北海道に行ってみたいなと思いました。初めて北海道に足を踏み入れたのは大学生のときで、オートバイで北海道を一周しました。その時北海道の雄大な大地と温かい

人々に触れ、漠然といつかは住んでみたいなと思いました。また、広い北海道の中でもなんとなくひがし北海道が自分の肌に合っているなど感じました。

卒業後は、株式会社大広(ダイコウ)という広告会社に入社し、以後31年間広告業界で働いてきました。大広入社時からしばらくは販売促進部門でイベントやキャンペーンの企画実施を担当し、2002年から中国駐在になり、以後延べ13年間は中国とシンガポールに駐在していました。2008年に中国で「狙った恋の落とし方」という道東を舞台にした映画がヒットし、多くの中国人が北海道に行きたがっていたのを覚えています。中華料理にも詳しいので何でも聞いてください。

そして2021年、前の会社を希望退職し新しい道を探していたところ、地域おこし協力隊のことを知り、縁あって鶴居村で働かせていただくことになりました。今まで漠然と夢見ていた北海道移住が現実となりました。以前と全く違う

分野・土地で働くことに対して、多くの方から「なんで?」と聞かれますが、人生100年時代と言われる中、一から新しいことにチャレンジしたほうが楽しいと思ったのが理由です。

鶴居村役場では、「鶴居村の魅力発信」の任務に就いています。SNSや広告やふるさと納税といった分野で、幅広く鶴居村の魅力発信してきます。前職の広告会社の経験を最大限活かして鶴居村の魅力発信していきたいと思います。SNSは同じ協力隊員の井上さんの頑張りもあって着々とフォロワーが伸びています。下記でQRコードも入れますので、是非皆さん見ていただきフォローをお願いします。

この原稿を書いている今(10月初旬)、ちょうど鶴居村にきて1か月が経ちました。まだまだ鶴居村のことを勉強中ですが、1か月の感想は「想像以上に美しかった!」の一言に尽きます。また、美しい鶴居村を守るために実はいろんな方々が尽力されていることを知りました。また酪農や

林業の現場にも行かせていただきましたが、皆さん鶴居村が大好きで、鶴居村に根を張って貢献されていることに感銘を受けました。

9月は緊急事態宣言もあって、あまり皆さんと会話する機会が制限されていましたが、もっともっというろんな人と会話して交流したいと思っています。「外から来た人の意見が聞きたい」とか「中国人対応に関する意見が欲しい」といった相談など、何でも大歓迎です!

お酒を飲むのも好きですので、コロナの状況を見ながらまずは少人数からお誘いください!是非皆さん、よろしくお願ひします。

ちなみに趣味は、1日1万歩あるくこと・マウンテンバイク・キャンプ。海外貧乏旅行です(バックパッカーでした。今は海外に行けませんので封印しています)。これからよろしくお願ひします!

### 住民の声



Instagram



Facebook



Twitter



YouTube



TikTok

- 発行責任者 松井広道  
議長 松井広道  
委員 長 松井洋和  
副委員長 松井俊治  
委員 長 吉田保博  
委員 佐藤吉人
- 広報広聴常任委員会